事業報告書

第１０期

自　令和５年　４月　１日
至　令和６年　３月３１日

一般財団法人笠間市農業公社

一般財団法人笠間市農業公社経営状況について

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２４３条の３第２項の規定により、一般財団法人笠間市農業公社の令和５年度事業報告及び令和６年度事業計画について別紙のとおり報告する。

令和６年５月３０日提出

笠間市長　　山口　伸樹

令和５年度

事業報告書

一般財団法人笠間市農業公社

事 業 一 覧

公益事業	1 農地中間管理事業 2 笠間台湾交流事務所運営事業 3 グリーンツーリズムPR事業 4 かさま結農業アカデミー事業
収益事業	5 農産物PR事業 6 遊休農地を活用した笠間の栗生産拡大事業 7 栗加工品販売事業 8 楽栗LaKuri運営事業

公益 1　農地中間管理事業

農地集積への取り組み

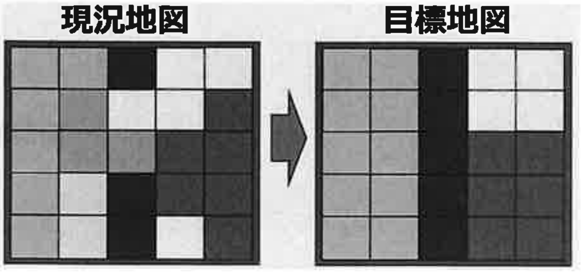
茨城県農林振興公社からの事業を受託し、
農地の出し手、担い手の申請や情報をもとに互いのマッチングによる農地集積を進めた。
令和5年度は、石井・来栖・稲田飯合地区の3地区をモデル地区として選定し、110.58haを集積した。

年度	モデル地区数	集積面積	累計集積面積
令和3年度	0地区	49.2ha	861.78ha
令和4年度	1地区	77.66ha	939.44ha
令和5年度	**3地区**	**110.58ha**	**1,050.02ha**

※詳細は別紙１参照。

「地域計画」策定への取り組み

地域ごとの現状や課題を整理するための話し合いの場にコーディネーターとして参加した。
今後も地域計画策定へ向け、地域の農業者や行政機関と協力しながら、農地の集約化を推進していく。



公益 2　笠間台湾交流事務所運営事業

笠間台湾交流事務所開設５周年記念事業

平成30年からの事務所開設5周年に伴い、記念事業を実施した 。

【主な事業の内容】

①「銘傳大学」との連携協定調印式
②台湾バナナ出荷式
③「台北市」との連携協定調印式
④「台北城市科技大学」との連携協定調印式
⑤台湾交流事務所開設５周年記念式典
⑥市内中学生選抜による中学生親善大使事業
⑦焼き物のまち新北市鶯歌区で笠間焼イベント開催

式典記念品として《常温レトルトパウチ焼き栗》を提供

▲台湾交流事務所開設５周年記念式典の様子

▲台湾バナナ出荷式の様子

公益　2　笠間台湾交流事務所運営事業

学校給食における台湾フルーツ購入事業

令和元年に笠間市と台湾政府（農糧署）間で文化交流と相互連携を目的とした覚書を締結し、学校給食で台湾フルーツ提供事業を実施してきた。今期の事業拡大に伴い、市から事業受託し、バナナを県内18自治体に提供した。

台湾バナナの学校給食提供実績推移

年度	本数	県内自治体	事業担当
令和元年度	7,961	3	おいしい給食推進室
令和2年度	12,338	4	おいしい給食推進室
令和3年度	24,648	5	おいしい給食推進室
令和4年度	23,141	8	おいしい給食推進室
令和5年度	**58,987**	**18**	**農業公社**

▲土浦市長と児童が学校給食で台湾メニューを楽しむ様子
（2023年12月7日　茨城新聞掲載）

▲市報で学校給食の台湾メニューを紹介
（2024年3月号　坂東市市報）

公益　3　グリーンツーリズムPR事業

酒米田んぼのオーナー制度

昨年度までコロナ禍の影響で縮小していたイベントを人数制限等を設けず開催した。
参加者数はコロナ禍以前並となり、近隣からの参加者だけでなく、首都圏からの参加者も増加傾向にある。

▲田植え会の様子

▲生きもの鑑定会の様子

イベントへの参加者数

年度	田植え会	鑑定会	稲刈り	酒蔵見学
令和元年度	95名	69名	138名	27名
令和4年度	21名	25名	20名	22名
令和5年度	**97名**	**83名**	**63名**	**20名**

※令和２、３年度はコロナ禍により中止、縮小

▲稲刈りの様子

▲酒蔵見学の様子

公益　4　かさま結農業アカデミー事業

笠間の米ブランディング事業

食の多様化や人口減少等により需要・消費が減少している米の高付加価値化を図るため、市農政課からの受託事業として実施。
ブランディングの基礎知識から販売までの一貫性のある支援をしたほか、制作物に対する購入支援も行った。

▲全体講習会の様子

▲テスト販売の様子

▲ウェルネス高校への寄付の様子

▲パッケージ（4名分）

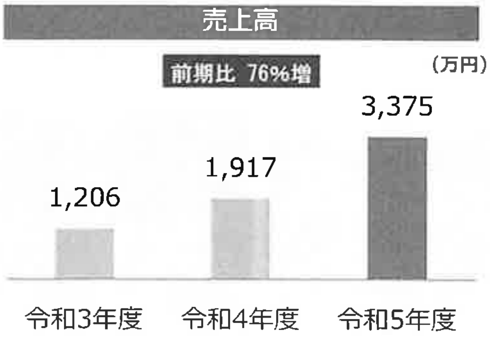
事業スケジュール

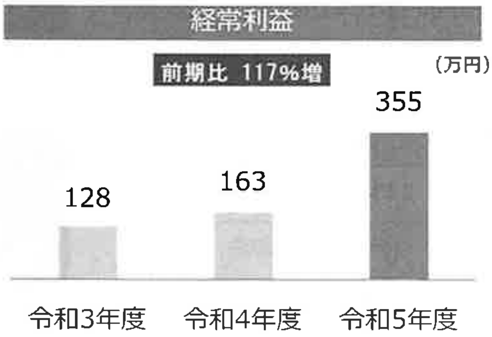
- 5月　全体講習会の開催　4名を選定
- 6月～10月　ブランド　イメージの構築
- 10月　道の駅かさま　テスト販売
- 11月　コンクール　への出品
- 12月　ウェルネス高校　への寄付
- 1～2月　支援金の交付

収益　5　農産物PR事業

笠間市産食材の販売先拡大

公社を介し、都内ホテル等へ笠間の栗をはじめとする笠間市産の食材を販売することで農産物のPR及び市内農家の販路拡大や所得向上にも寄与した。





収益　6　遊休農地を活用した笠間の栗生産拡大事業

総収穫量増への取り組み

市内の農家から栗園場や遊休農地を借り上げ、剪定や除草等を徹底し、良質な栗を生産した。令和5年度は、通年の作業員数を増員、乗用草刈機を新たに購入する等、管理体制を整えた。

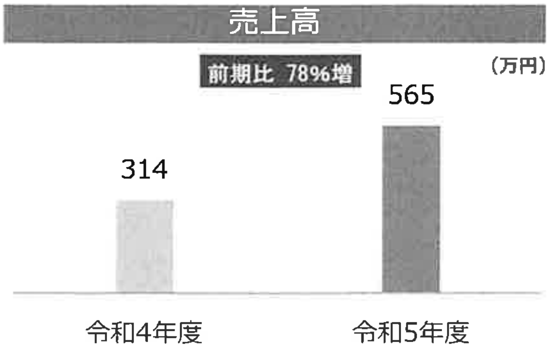
不良栗（ロス）の対策

これまで課題となっていた不良栗の量に着目し、選別の基準を用途によって分けることにより、廃棄、低価格販売分が大幅に減少し、良栗率（総収穫量に対する良栗の量）が向上した。

収益　7　栗加工品販売事業

栗加工商品の開発研究

新たな包装形態を確立することにより、従来のイベント販売のほかにインターネット販売等に対応できるよう商品開発を行った。



①焼き栗
《冷凍》インターネットを活用したＥＣ販売促進
　　　　ふるさと納税サイトにて販売
《常温》レトルト保存パック販売

②むき栗
学校給食や事業者、楽栗LaKuri店舗等への販売促進

③栗ペースト
学校給食や事業者、楽栗LaKuri店舗等への販売促進

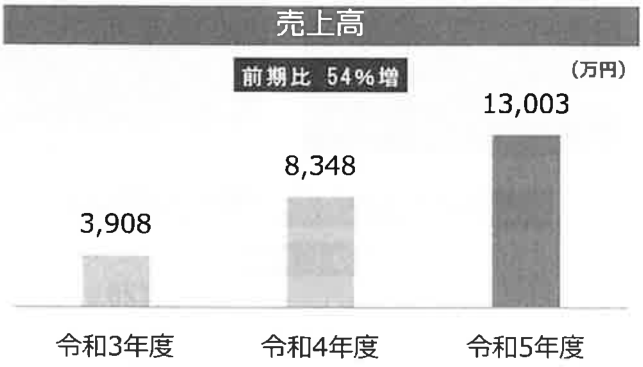
▲冷凍焼き栗

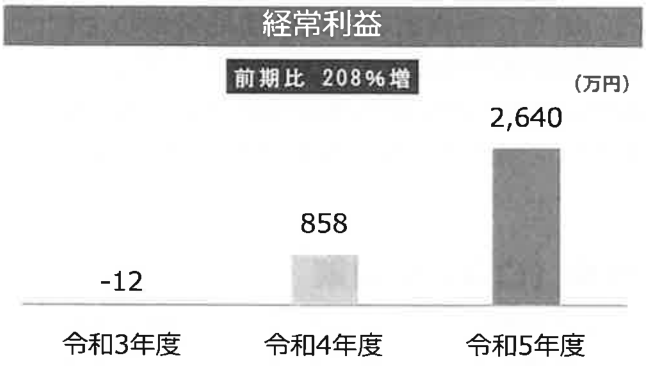
▲常温　レトルト保存パック

収益

8　楽栗 LaKuri 運営事業

今期業績及び取り組み





前期比 増収増益を達成
テイクアウト・季節限定メニュー強化
製造能力成熟、季節増客への供給適応

前年度に比べ設備投資額少なく大幅増益